

～地域ぐるみで支えあ^{むら}う農村づくりが始まります！～ 農村RMO形成に向けた地域協議会の設立総会の開催

これまで、農用地の保全管理は主に個別の農家や集落単位で行われてきましたが、農業者の減少・高齢化の進行により、個人や単独の集落では管理の手が回らなくなってきたり、荒廃農地の拡大が懸念されています。また、農業のみならず、買い物や子育て、交通手段など集落の基本的な生活機能を維持することも困難になりつつあります。

このため、近接する複数の集落が手を取り合い、互いに集落機能を補完し、さらには非農家や企業などとも連携しながら、地域全体で農用地保全活動や農業を核とした経済活動とあわせて生活支援までを行う新たな仕組みとして「農村RMO（農村型地域運営組織）」の形成が必要となっています。

このたび、酒田市日向地区において、県内初となる農村RMOの形成に取り組む協議会の設立総会が開催されることとなりました。

農村RMO設立後は、クランベリーの試験栽培による農地の有効活用や、「80歳でも使えるかんたんアプリ」の開発など、これからも地域で暮らし続けていくための新たな取組みを行う予定です。

つきましては、農村RMOの形成に向けた取組みを行う県内で初めての地域となりますので、是非取材していただきますようお願い申し上げます。

【日向ふるさとづくり協議会（仮称）設立総会】

- 1 日 時 令和6年4月25日(木) 午後6時30分から
- 2 場 所 日向コミュニティセンター（酒田市上黒川家ノ東19-2）
- 3 主 催 日向ふるさとづくり協議会（仮称）
- 4 協議内容 協議会規約の制定、役員を選任、事業計画及び予算等
- 5 出席団体 日向コミュニティ振興会、日向地区自治会長会、日向保全会、(株)和農日向、滝の里ファーム、(株)鳥海高原デリーファーム、東北公益文学大学、酒田市社会福祉協議会八幡支部、庄内総合支庁農村計画課、酒田市農林水産部、八幡総合支所ほか

【農村RMO設立後の主な取組予定】

地域の将来ビジョン策定、農地の粗放的利用、有害鳥獣被害対策、労働力確保や交流・関係人口拡大に向けたアプリの開発、生活支援策の検討など

【今後の予定】

大沢地区（酒田市）においても、5月以降の農村RMO形成に向けた協議会の設立に向けて準備を進めています。



担当：農村計画課
計画調整主幹 佐藤昌之
電話：0235-66-5541